

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	マイクロミニピッグを利用したウイルス性胃腸炎モデルの作製
研究責任者	鈴木 哲朗
研究機関名	浜松医科大学医学部感染症学講座 静岡県環境衛生科学研究所
研究目的と意義	ヒトノロウイルス(NoV)は、食中毒、感染性胃腸炎の最も重要な原因因子であるが、培養細胞での感染増殖系が確立されていないことなどからその予防法、治療法の開発は必ずしも進んでいない。また、ブタ、チンパンジーでの実験感染例が報告されているが、より小型動物を用いた感染系は確立されていない。本研究では、マイクロミニピッグ(MMP)への NoV 感染実験を行う。MMP への NoV 感染系を確立しウイルス性胃腸炎モデルを作出することを旨とする。
研究期間	西暦 2015 年 11 月(倫理委員会承認後) ～2017 年 3 月
研究方法	<p>●対象となる患者さん： なし</p> <p>●研究に使用する試料： (1) 行政検査のため搬入された食中毒事例及び集団感染性胃腸炎事例より採取され、NoV が検出された糞便検体</p> <p>●研究方法 NoV 検体を経口投与した MMP について、臨床経過を観察すると共に、採取した MMP の糞便からウイルス排出量を定量し、投与量と比較し、NoV の増殖の有無を判定する。また、感染実験終了後には、病理解剖を行い、腸管粘膜面の剖検所見や組織切片等の観察を実施する。これらの所見を総合し、MMP の NoV 感染モデルとしての有用性を検討する。</p>
問い合わせ先	〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部 講座:感染症学(ウイルス学・寄生虫学分野) 担当者:鈴木 哲朗 TEL:053-435-2336 FAX:053-435-2338 E-mail:tesuzuki@hama-med.ac.jp